

東京脳神経センターは、画像診断のパイオニアであり、「頸性神経筋症候群(首こり病)」の診察及び治療法を発見した松井孝嘉博士が、恩師の東京大学名誉教授 佐野圭司氏(初代所長、2011年1月没)を迎え、2006年5月11日、東京・神谷町にオープンした医療施設です。

「今までどこの病院でも治せなかった病気を治す*」という使命のもと、最新鋭の画像診断装置(MRI・CT ほか)による検査・診断と、東大医学部卒の脳神経外科・神経内科の名医たちによる診療を行う医療施設です。

***世界で初めて、頸神経症候群を発見・発表。自律神経(副交感神経)の治療を実現**



東京脳神経センター
〒105-0001
東京都港区虎ノ門4-1-17 神谷町プライムプレイス2F

主な診療内容

- 1) 頸性神経筋症候群(首こり病)診断と治療
- 2) 脳神経疾患全般の診断と治療(適切な関連病院へ紹介とフォロー)
- 3) 予防医療(脳ドック・頸ドック)の提供
- 4) 軽症の認知症状の早期診断と治療



最新鋭MRI 1.5T
都内でも最高の画質を誇る



X線装置最新鋭MDCT16列
脳血管～心血管までカバー

「首こり病(頸性神経筋症候群)」とその治療法の発見者、松井孝嘉博士をはじめ、東大医学部卒の日本でもトップクラスの脳神経外科・神経内科医が集まり、脳・脊髄・末梢神経を含めた神経全般の疾患、筋肉の病気を対象とした診療を行っています。



松井 孝嘉
東京脳神経センター 理事長
松井病院理事長
頸性神経筋症候群を発見
脳神経外科専門医
東京大学医学部卒



高倉 公朋
東京脳神経センター 所長
東京大学名誉教授
東京女子医科大学名誉教授
脳神経外科専門医
東京大学医学部卒



岩田 誠
東京女子医科大学名誉教授
日本自律神経学会理事長
CNMS 診断治療
神経内科専門医
東京大学医学部卒



北條 俊太郎
東京脳神経センター副所長
前帝京大学客員教授
CNMS 診断治療
脳神経外科専門医
東京大学医学部卒



設楽 信行
東京脳神経センター副所長
前・都立 広尾病院院長
CNMS 診断治療
脳神経外科専門医
東京大学医学部卒



作田 学
杏林大学客員教授
CNMS 診断治療
日本神経学会認定
神経内科専門医
東京大学医学部卒



堤 裕
前東京逋信病院
脳神経外科部長
CNMS 診療治療
脳神経外科専門医
新潟大学医学部卒業



遠藤 雄三
医学博士
病理専門医
CNMS 診断治療
東京大学医学部卒業



天野 恵市
脳神経外科専門医
東京大学医学部卒
集中治療医学会専門医
外国医師または
外国歯科医師臨床修練指導医
身体障害者福祉法
第15条第1項指定医



江口 恒良
脳神経外科専門医
東京大学医学部卒
前 亀田総合病院副院長
元 東京警察病院脳神経外科
副院長



金 彪
セカンドオピニオン外来
(脊椎脊髄)
独協医科大学主任教授
脳神経外科専門医
東京大学医学部卒業



福岡 秀興
産婦人科専門医
東京大学医学部卒
東京大学大学院助教授
(医学系研究科発達医科学)
早稲田大学理工学研究所研究院教授